



# わだしいすき

第57号 平成26年4月24日発行

発行者：NPO法人和田地域づくり協議会『WAO!』

連絡先：住所 南房総市和田町仁我浦206 和田地域センター内

電話 0470-47-3427

## 嶺南中学校、入学式

3月に和田中学校と丸山中学校が閉校となり、4月から嶺南中学校が開校し、8日（火）に第1回入学式が行われました。

真新しいブレザーの制服に身を包み、緊張した面持ちで新入生56名が入場し、式が始まりました。国歌斉唱、そして新入生一人ひとりが呼名された後、学校長式辞、教育委員会や市長の祝辞などが続きました。「心のやさしさと強さを持った中学生になって欲しい」「大きな期待と夢を忘れないで中学校生活を送ってください」など、励ましの言葉がありました。さらに、在校生による歓迎の言葉や新入生の誓いの言葉が述べられました。



第1回入学生と保護者の皆さん

その後校歌を歌いましたが、在校生の皆さんは既に覚えていて、大きな声で歌ってくれました。嶺南中の校歌は歌いやすく、また歌詞の中に『心ひとつに力をあわせ 今新しい歴史を築く みんなで作る わが母校』とあります。まさに、これから新しい学校を作っていくて欲しいという願いが込められています。在校生も新入生も、そして保護者や地域の方々も、2つの地域が融合して新しい歴史を作っていくてくれると期待します。



嶺南中学校校章

## 和田地域センターの職員

年度末の定期人事異動により、和田地域センターの職員が次のように替わりましたので、お知らせします。

旧職員 所長兼和田協働推進室長 小原 靖喜――退職  
込山 浩司――行革財政課へ  
野村そのみ――健康支援課へ

新職員 所長兼和田協働推進室長 石田 靖――社会福祉部より  
川名 敦子――朝夷行政センターより

そのほかの職員は替わりません。道の駅が完成し活動も始まっていることから、昨年度より職員が1名減となりました。



## 和田地域づくり協議会の職員

前号でもお知らせしましたが、南房総市からNPO法人和田地域づくり協議会WAO!が、4月から道の駅「和田浦WA・O!」の指定管理を受けています。施設の管理運営をスムーズに進めるために職員をおくことになり、ギャラリースペースに事務所を置き、駅長として小原靖喜、事務員として正木利恵子の2名が勤務しています。

## 紙芝居、行われる

前号でお知らせした地域づくり協議会にぎわい部会主催による紙芝居が、16日(水)18時20分から和田コミュニティセンターで行われました。演じた紙芝居は、小学校高学年向きに「くろしおの花 間宮七郎平伝記」(平成6年度和田小学校卒業生作)と「くじらのしま」で、低学年と幼児向けに「くじらクン」と「なんにもせんにん」でした。大人も含めて高学年の部には約20人、低学年の部には約35人が見学してくれました。

演じた会員たちは、声の大きさを考えたりゆっくり話したり、子どもたちに投げかけたりと工夫していました。また、参観してくれた方々も懸命に見てくれ、みんなで紙芝居の場作りをしてくれました。

曲を演奏しようとしたらうまくできなかったなど失敗もありましたが、これからも小学生や幼稚園児を対象に演じていきますので、お楽しみに。



集中して見る子どもたち

## 金上地区地域づくり協議会が来訪

3月23日(日)に福島県河沼郡会津坂下町(あいずばんげまち)の、金上(かながみ)地区地域づくり協議会の会員が来訪しました。金上地域づくりの会員が、自分たちの地域づくり活動に参考になる協議会はないかとフェイスブックで検索していたところ、和田地域づくり協議会が楽しそうに活動していることを知り、参考にしたいということで来訪しました。和田地域づくり協議会が他地区の協議会から取材を受ける、初めての機会でした。

取材された内容は、設立までの経過や会員数、組織や運営のしかた、事業内容と予算などについてです。その後、互いの課題やその解決方法について意見交換しました。互いに過疎化や少子高齢化などの課題があるので忌憚のない意見交換となりましたが、ユーモア溢れる説明を行い、また先方も気さくな方々であったため笑顔が絶えませんでした。



金上地区地域づくり協議会の皆さん

金上地区地域づくり協議会は、公民館活動を基盤とした地域づくり活動を展開したいとのことでした。和田地域づくり協議会とは設立の趣旨が少し違いますが、地域を盛り上げていこうとする方向は同じなので、これからも交流していけたらと思います。

## 市民提案型まちづくりチャレンジ事業 活動団体募集

南房総市では平成21年3月に南房総市協働のまちづくり推進指針を策定し、市民と行政によるまちづくりを進めています。その協働のまちづくりを進める一環として「市民提案型まちづくりチャレンジ事業」により、自主的・自発的に公益的な活動をする市民活動団体に対して補助金が支給されます。その活動団体を募集しているので、興味のある方や団体は是非申し込んでください。

この事業には、はじめの一步コース(上限5万円)とチャレンジコース(上限30万円)の2つがあります。いずれも締め切りが4月30日(水)までと迫っていますので、早急に企画部市民協働課までお問い合わせください。南房総市のホームページ「みんなネット」にも掲載されています。

住所 南房総市富浦町青木28番地 別館1

電話 33-1005 FAX 20-4598



今年度の発表会の様子